

博物館情報・メディア論

自由

開講年次：3年次後期

科目区分：講義

単 位：2単位

講義時間：30時間

■**科目のねらい**：博物館における情報メディアの意義と活用を理解する。博物館における情報コミュニケーション活動の役割を考察し、博物館などにおける「情報」と「メディア」の概念、情報の展示コンセプトや、次世代の情報提供や活用の方向性、方法論を具体的な事例をもとに習得する。メディアアーカイブやインターネットの多様な活用方法などについても学ぶ。

■**到達目標**：①博物館における情報やメディアの活用方法、情報発信の課題と展望を理解し、学芸員として必要な博物館における情報・メディア環境をマネジメントする基礎的能力を養う。
②博物館情報誌を想定したDTP やウェブ制作の展望と方法論、博物館展示の広報宣伝の手法などを習得し、ICT環境における博物館の未来、デジタルアーカイブやソーシャルメディア時代に対応する次世代の博物館の役割を考察する。

■**担当教員**：

武田 亘明

■**授業計画・内容**：

- 第1回 ICT社会における生涯学習とメディアの意義
- 第2回 情報教育の意義とメディアリテラシー
- 第3回 学習情報の共有とメディアの意義
- 第4回 メディアとしての博物館
- 第5回 博物館活動の情報化とコミュニケーション戦略
- 第6回 デジタルアーカイブの現状と課題
- 第7回 資料情報のドキュメンテーションとデータベース
- 第8回 情報共有のためのメディアの活用、情報モラル
- 第9回 知的財産権と個人情報
- 第10回 情報誌の編集と電子出版
- 第11回 DTPによる情報誌の作成と編集（編集と構成）
- 第12回 DTPによる情報誌の作成と編集（画像処理）
- 第13回 Web Publishingによる情報公開と共有（ホームページの基本設計）
- 第14回 Web Publishingによる情報公開と共有（図版の編集とリンク）
- 第15回 Web Publishingによる情報公開と共有（映像と音声）

■**教科書**：適宜、資料等を配布する。

■**参考文献**：特に指定しない。

■**成績評価基準と方法**：授業内レポート40%、授業態度30%、出席30%

評価方法	到達目標		評価基準	評価割合 (%)
	到達目標①	到達目標②		
定期試験				
授業内レポート	○	○		40
授業態度	○	○	積極的な意見交換	30
発表				
課題・作品				
出席	○	○	2/3以上の出席	30
その他				

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：